



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 フロンティア・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役 大西 正一郎
(コード番号：7038、東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 高橋 義昭
(TEL. 03-3514-1313)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 9 月 28 日に公表した平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想数値の修正（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 4,320	百万円 462	百万円 461	百万円 277	円 銭 107.67
今回修正予想 (B)	4,530	600	608	400	154.59
増減額 (B - A)	210	138	147	122	—
増減率 (%)	4.9	29.9	31.9	44.4	—
(参考) 前期通期実績 (平成 29 年 12 月期)	3,880	251	254	144	57.61

- (注) 1. 当社は、平成 30 年 7 月 13 日付で普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っておりますが、平成 29 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。
2. 前回発表予想 (A) における 1 株当たり当期純利益は、公募による自己株式処分株式数 (270,000 株) を含めた期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当による自己株式の処分に係る株式数 (78,000 株) は考慮しておりません。
3. 今回修正予想 (B) における 1 株当たり当期純利益は、公募による自己株式処分株式数 (270,000 株) 及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当による自己株式の処分に係る株式数 (78,000 株) を含めた期中平均株式数により算出しております。

(2) 修正理由

売上高については、主にファイナンシャルアドバイザー事業において、M&A 案件において成約まで至るケースが想定よりも多く、前回発表予想を上回る見込みであります。また、利益面においては、旺盛な受注に対応するための外注費の増大や、業容拡大のための採用の想定以上の進捗による採用費の増大が見込まれているものの、売上高の増加に伴い、前回発表予想を上回る見込みであります。

また、前回発表時においては「雇用者給与等支給額が増加した場合の法人税額の特別控除（いわゆる所得拡大促進税制）」の適用を受けるための要件を満たすか不明確でしたが、現時点におきましては要件を満たす見込みが相当程度高く、所得拡大促進税制の適用を反映いたしました。その結果、法人税等の見込みが減少し、親会社株主に帰属する当期純利益は経常利益に比して増加率が大きくなる見込みとなっております。

以上の結果、通期の連結業績を上記の通り上方修正いたします。

(注) 上記業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上